

特別演習 概要

経営組織特別演習

企業を取り巻く経営課題は加速度的に複雑になっており、企業経営はますます難しくなっている。しかし、それと同時に、近年、経営理論も長足の進歩を遂げており、これまで以上に経営の現場に活かされるようになっている。そこで本演習では、経営学の中でも戦略論・組織論を中心に最先端の理論を学び、それらの理論を用いて企業が直面する課題を具体的にどのように解決していくのか、その実践知を修得する。

国際経営特別演習

新型コロナウイルスのパンデミック、そしてウクライナ危機により1990年代以降のグローバリズムは大きな曲がり角に差し掛かっている。このような世界情勢のもとで、国際ビジネス・グローバルビジネスの主役である「多国籍企業」は、どのようにして生き残りを図るべきであろうか。本演習においては、「多国籍企業」に焦点を当て、経済倫理・企業倫理のフレームワークに依拠して、「多国籍企業」の行動を分析し、その行動を方向付け、社会に寄与させる方法について研究を行う。

情報システム特別演習

ソフトウェア進化における企業情報システムへの適応をテーマに、情報システムの開発・運用を中心に研究を行う。具体的には、オブジェクト指向分析設計、ソフトウェア開発プロセス、プロジェクト・マネジメントを中心に効果的システム開発および運用について演習を行う。

データベース特別演習

これまで企業における情報システムには、リレーショナル・データベースが組み込まれることが多かった。そのようななかでビットコインの中核技術として広く知られるようになったブロックチェーンは、分散データベースの一種であるとも捉えることができる。本演習では、ビジネスモデルや現代的課題に応じて、それに適合するデータ構造及びデータベースを探る。

管理会計特別演習

企業経営における会計の重要性は従前より認識されており、会計を用いない経営は現代では考えられないものとなっている。特に、企業内部のビジネスプロセスにおける卓越性を獲得することは、激化する競争環境を生き抜くために重要である。本演習では、原価計算を中心に、なぜ会計が経営管理上重要な役割を担うに至ったのか、そして、なぜ現代のような発展を遂げたのかを考察することを大きな目的とする。

経営学特別演習

これまでの歴史を振り返ると、企業は人間の命と同様、永遠に存続できるわけではない。日々環境の変化にさらされており、常に環境に適応していかなければ、存続は不可能である。そこで、本演習では現実の企業に焦点を当て、外部的には技術革新やグローバル化、内部的には経営戦略といった観点から、種々のステイクホルダーの立場に立脚して分析を進める。

人材戦略特別演習

社会のあらゆる面においてグローバル化とデジタルトランスフォーメーションが進む状況を鑑み、日本の人材育成システム全般を洗い直してみる。世界に伍して活躍できる人材の要件とは何か、それを満たす人材を育てるために学校教育の内容や学校はどう改革されなければならないか、また、日本の企業内教育訓練はどうあるべきかを考える。さらに、少子高齢化が最も進んでいる日本において、潜在的人材はどこに存在するのか、彼女/彼らを活性化させるシステムはどうあるべきかについて研究する。

経営情報学特別演習

1960年代に始まった経営情報システムは、情報化社会の進展において、会社経営にとってなくてはならない存在となっている。特に、DXが求められる現代においては、IoTやビッグデータ、AIなどの技術を用いたデータ利活用が注目されている。本演習では、このような状況をふまえ、超情報社会における課題を設定し、上記の技術などを活用し課題解決に取り組む。課題のテーマについては、柔軟に対応する。

経営工学特別演習

Society5.0社会の進展によって、DXの推進が図られ、経営工学の分野の研究の重要性は益々ましている。本演習では、経営に関する諸問題について、最新の経営工学的アプローチによって問題を解決する手法を学び、それを使って、ビジネス分野のフィールドで、諸課題について実践研究を行う。具体的な課題のテーマや演習の進め方については、柔軟に対応する。

財務会計特別演習

今日、企業の経済活動は複雑化、多様化しており、それに対応するように会計制度も大きく変化している。こうした制度変革の背景や基礎となる論理について考察するとともに、現行の会計制度、会計基準について具体的に検討する。また、必要に応じて、企業が開示する有価証券報告書などに記載されているデータを用いた検証を行う。

経済学特別演習

(実証)経済学の研究を遂行する上で重要なのは、現実を偏りのない目で観察し、仮説を推論し、それをデータで検証するという一連の作業を手際よく行えることである。本演習ではそのために必要な資質を身に付けることを目標とする。取り上げるテーマについては、柔軟に対応する。